評価ガイド発表直前！これだけ読めば追いつける

SCS評価制度
～事前準備マニュアル～

サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度

BCC株式会社

Table of Contents

目次

01 はじめに

2026年後半に入り、セキュリティ担当の皆様の間で急激に話題に上るようになった「SCS評価制度」。
「なにやら新しい制度が始まるらしいけれど、自社に関係あるの？」
「取引先から聞かれたらどうしよう？」
と不安を感じている方も多いのではないでしょうか。

このマニュアルは、難しい専門用語をできるだけ噛み砕き、
「これだけ読めば制度の全体像と今やるべきことが理解できる」ようにまとめた事前準備ガイドです。
巻末には社内で今すぐ使える4つの実践特典（雛形やセルフチェックシート）もご用意しています。

ぜひ最後までお役立てください！

前提として、こちらの資料は公式で発表された資料を基に弊社の視点でまとめなおしたものです。
最新情報等は必ず下記のサイトをご確認くださいますようお願い申し上げます。

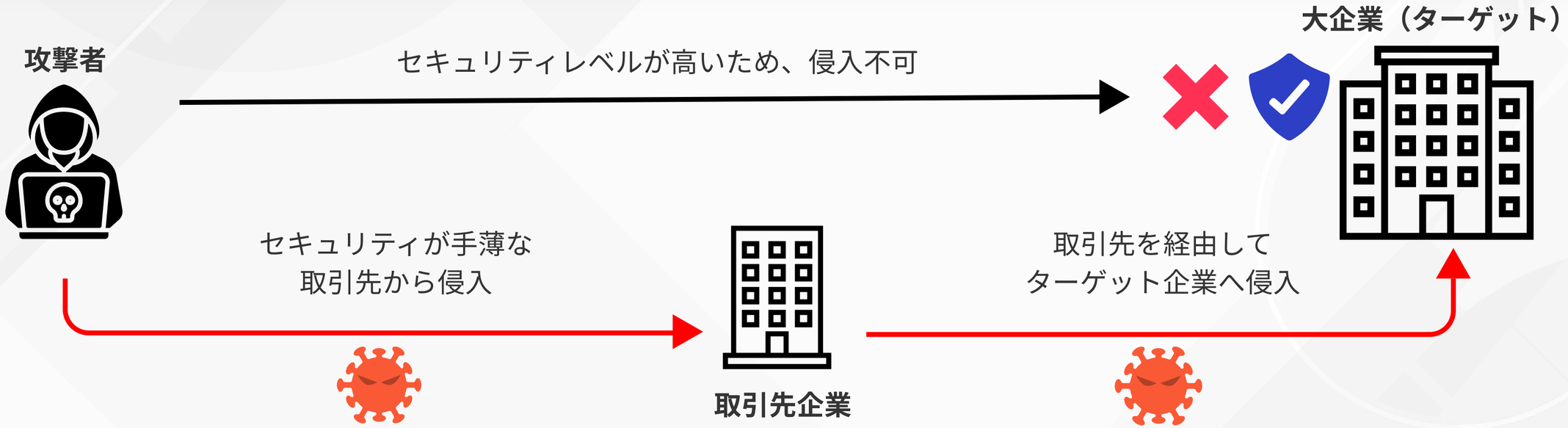
https://www.ipa.go.jp/security/scs/

02 SCS評価制度とは？（制度の概要と背景）-1

正式名称は「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」です。背景には、主に2つの大きな課題があります。

1.　サプライチェーン攻撃の増加

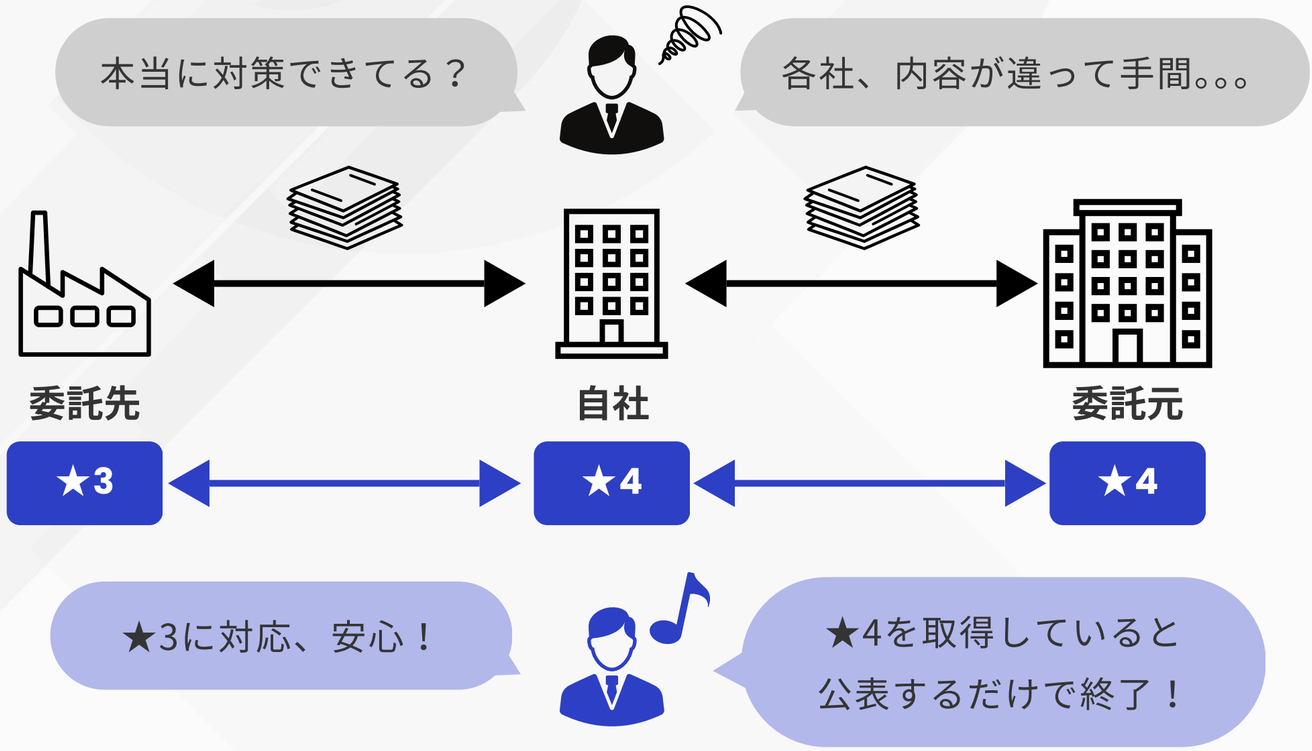
大企業のセキュリティが強固になったため、攻撃者はまずセキュリティの甘い**「中堅・中小企業（取引先）」を侵入口（踏み台）にして本命企業を狙う**手口が主流になりました。



02 SCS評価制度とは？（制度の概要と背景）-2

2.　調査作業の非効率化

これまで取引先ごとにバラバラな「セキュリティ確認調査票」が届き、**確認作業や回答対応に双方多くのコスト**がかかっていました。



制度によって共通の評価基準を設けることで

- **サプライチェーン全体の防犯力を底上げ**
- **双方の回答・確認の手間を軽減すること**

を目指しています。

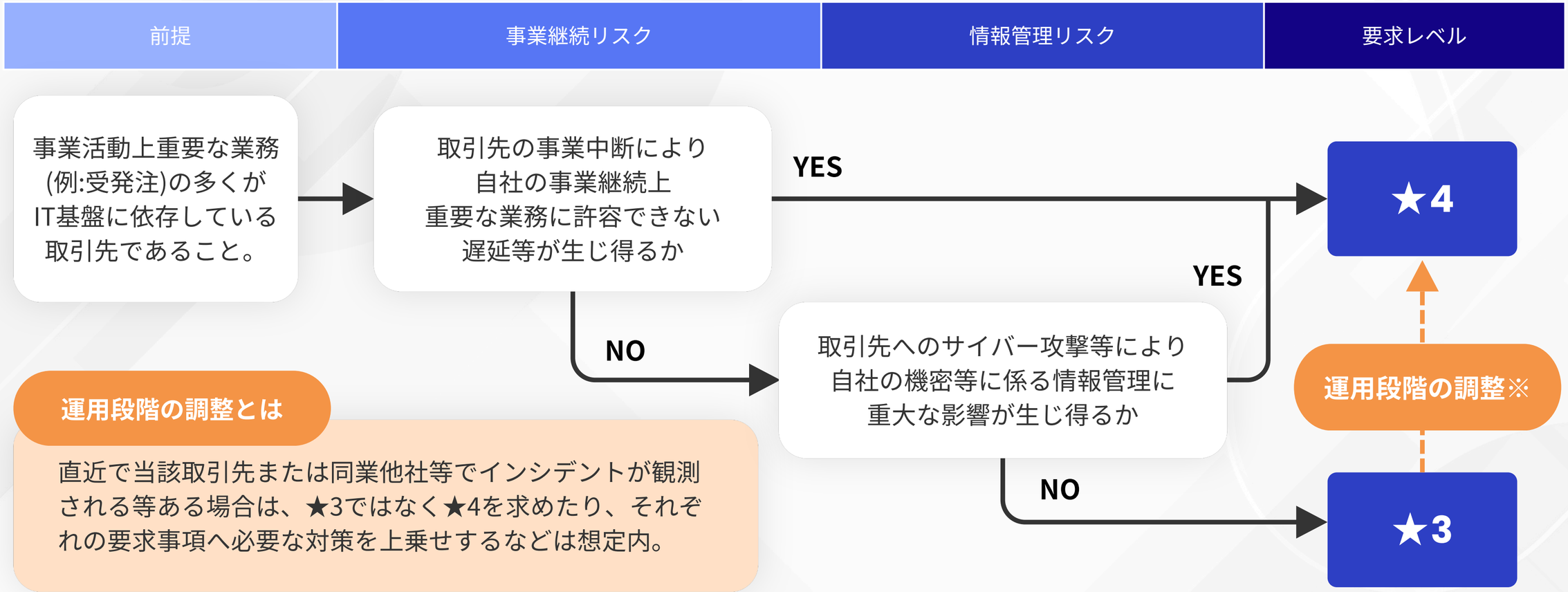
03 評価レベル「★3」「★4」の違い

※「★3を取得していないと★4を取れない」という階層関係ではありません。自社の役割や取引先からの要求水準に応じて、どちらを目指すかを判断します。

	★3	★4	★5
想定脅威	広く認知された脆弱性等を悪用する **一般的なサイバー攻撃**	**サプライチェーンに大きな影響をもたらす企業への攻撃**や機密情報等、情報漏えいにより大きな影響をもたらす資産への攻撃	未知の攻撃も含めた **高度なサイバー攻撃**
対策の考え方	基礎的なシステム防御策と 体制整備を中心に実施	組織ガバナンス・取引先管理、 システム防御・検知、インシデント対応等 包括的な対策を実施	自組織に必要な改善プロセスを整備した上で、システムに対しては現時点でのベストプラクティスに基づく対策を実施
項目	83項目	157項目	今後検討予定
有効期限	1年	3年	今後検討予定
評価方法	専門家確認付き自己評価	第三者評価	第三者評価

04 どちらを取得したらいい？

「事業継続リスク」と**「情報管理リスク」**の2つの観点から、★3に該当するのか、★4となるのか判断されます。

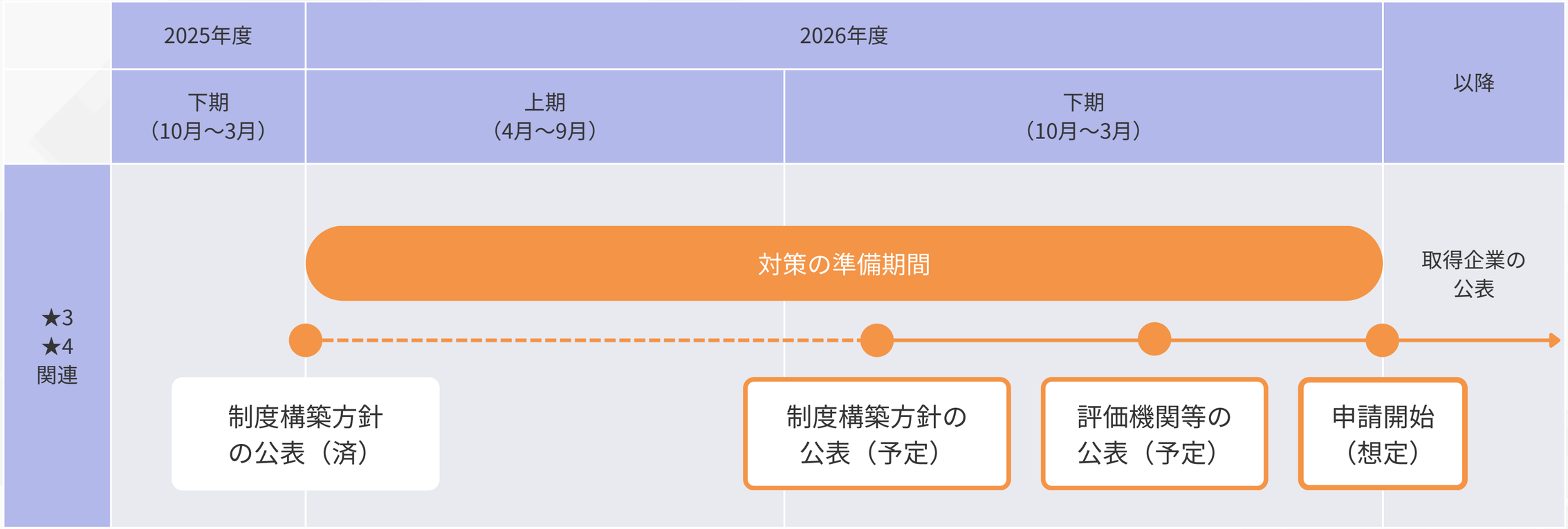


運用段階の調整とは

直近で当該取引先または同業他社等でインシデントが観測される等ある場合は、★3ではなく★4を求めたり、それぞれの要求事項へ必要な対策を上乗せするなどは想定内。

05 いつから始まる？ 今後のスケジュール

制度の本格的な運用開始は2027年3月頃が予定されています。直前になって慌てないよう、段階的に公開される情報に合わせて準備を進めましょう。



※★5の詳細については現在～申請開始以降も引き続き検討

06 運用開始までに自社で準備しておきたいこと

10月の詳細発表を待つ間にも、今すぐ着手できる重要な社内準備があります。

今すぐ社内で着手できること

- ☑ 推進体制（社内担当者・窓口）の決定
- ☑ IT資産と「止まったら困る最重要業務」の整理

詳細（2026年10月）発表後にやること

- ☑ 詳細な評価項目に沿ったセルフチェックの実施
- ☑ 専門家や評価機関への事前相談、申請スケジュールの調整

あらかじめ「自社のどこを評価対象にするか（資産と業務の整理）」ができていれば、秋以降に詳細基準が出た際もスムーズに動くことができます。

07 巻末特典

社内でのセキュリティ体制構築・見直しに今すぐご活用いただける4つの実践ツールをご用意しました。

特典 01

従業員向け緊急時初動マニュアル

不審なメールを開いた、画面がロックされた等の事態に、現場社員が迷わず行動するためのひな形です。

特典 02

セキュリティ体制回答書ひな形

★取得関係なく「対策状況はどうなっていますか？」と聞かれた際に、迅速に状況を回答するためのテンプレート。

特典 03

★3対応セルフチェックシート

公式の評価基準（★3）を「わかりやすい表現」で噛み砕き、社内でマル・バツを付けやすくした点検表です。

特典 04

社内データ棚卸しテンプレート

社内のPC、サーバー、クラウドサービス機密データの置き場所を可視化するための台帳フォーマットです。

無料 すべてこちらからダウンロードいただけます →

08 おわりに

「SCS評価制度について、まだ本格的に検討できていない」
「自社の場合どこから手を着ければいいかわからない」
という状態でも、まったく焦る必要はありません。

弊社では、最新のSCS評価制度の動向を踏まえたセキュリティ基盤の見直しや、運用の整理に関するご相談を承っております。
情報交換だけでも大歓迎ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください！

ご相談・お問い合わせはこちらをクリック →

09 会社概要

商号	ＢＣＣ株式会社
事業所	東京本社 ：東京都千代田区外神田６-15-９ 明治安田生命末広町ビル９Ｆ 大阪本社 ：大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋9Ｆ
創立	2002年3月
代表取締役社長	伊藤一彦
カンパニー名 カンパニー長	IT営業アウトソーシングカンパニー 松村健太
主要部門	・営業アウトソーシング ・ソリューション
許認可	一般労働者派遣事業（派27-302361） 有料職業紹介事業（27-ユ-302045） プライバシーマーク認定（第10861424(07)号） 電気通信事業（E-28-03972）
主要取引先	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ) 日鉄ソリューションズ株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 日本電気株式会社(NEC) 富士ソフト株式会社